

製品名: シスタチオナーゼ (2V17) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe09687**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IP 1:50-1:100
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	CTH
別名	CTH; Cystathionine gamma lyase; Cysteine desulfhydrase; Gamma cystathionase; Homoserine deaminase;
遺伝子 ID	1491.0
SwissProt ID	P32929
免疫原	ヒトシスタチオナーゼ/CTH の合成ペプチド

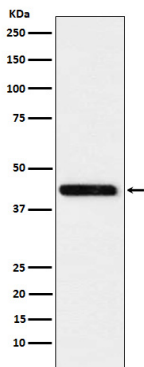
背景

メチオニンからシステインへの硫黄転移経路の最終段階を触媒します。幅広い基質特異性を有します。シスタチオニンをシステイン、アンモニア、2-オキソブタン酸に変換します。メチオニンからシステインへの硫黄転移経路の最終段階を触媒します。幅広い基質特異性を有します。シスタチオニンをシステイン、アンモニア、2-オキソブタン酸に変換します。2つのシステイン分子をランチオニンと硫化水素に変換します。ホモシステインも基質として受け入れることができます。特異性は内因性基質のレベルに依存します。内因性シグナル分子である硫化水素 (H₂S) を生成することで、血圧の調節に寄与します。標的タンパク質のスルフィド化を媒介するシステインタンパク質スルフィド化酵素として機能します。スルフィド化は、GAPDH、PTPN1、NF-κB サブユニット RELA などの標的タンパク質の特定のシステイン残基上の -SH 基を -SSH に変換することから成り、それによってそれらの機能を調節します。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中のシスタチオナーゼ発現のウェスタンブロット分析。